

毎年恒例

長野県資源循環保全協会青年部会

もり 森林の里親促進事業を行いました

日時：7月26日(水) 9:00～11:00

場所：南条生産森林組合 所有山林

協力者：南条生産森林組合

組合長 柳沢 博美 様

南条生産森林組合

組合員 宮嶋 寛美 様

出席者：佐藤部会長、小柳相談役、菊池相談役、金副部会長、小柳副部会長、高藤研修委員長、小林会計担当、上條交流委員、木村研修委員、小松氏(㈱キタニ)、水出氏(㈱ウエルサイクル)
(計11名)

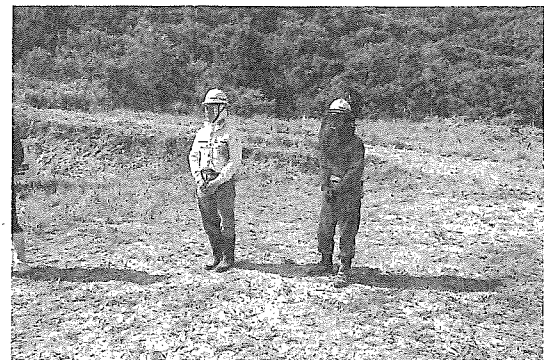
担当：研修委員会

青年部会恒例の行事であるもり森林の里親促進事業を7月26日(水)に開催いたしました。

当日は前年と同様坂城IC付近に集合し、数台の車両で連なり草や木で覆われた道路を自動車に傷をつけまいと注意深く運転し目的地近くの駐車場まで移動しました。

駐車場には既に到着されていた柳沢組合長と宮嶋様の姿があり、これからまた過酷な作業が始まるという若干の高揚感がありました。

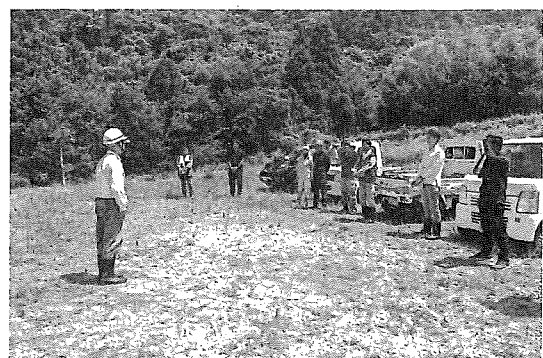
今回の参加者11名が全員揃うと開会式が執り行われ、佐藤部会長は開会の挨拶で「本日は長野県各地からもり森林の里親促進事業にご参加くださりありがとうございました。高所



柳沢組合長 宮嶋様

のため若干の涼しさはありますが、ただいま夏真っ盛りです。熱中症や蜂に気を付け無事に帰宅できるよう安全作業の徹底を宜しくお願いいたします。また、毎年恒例となっておりますが、このような機会を設けていただきました南条生産森林組合の柳沢組合長、宮嶋様ありがとうございます。」と述べました。続いて柳沢組合長より今回も多く長野県資源循環保全協会青年部会員の参加に対するお礼、作業内容の説明をしていただき開会式が終了しました。

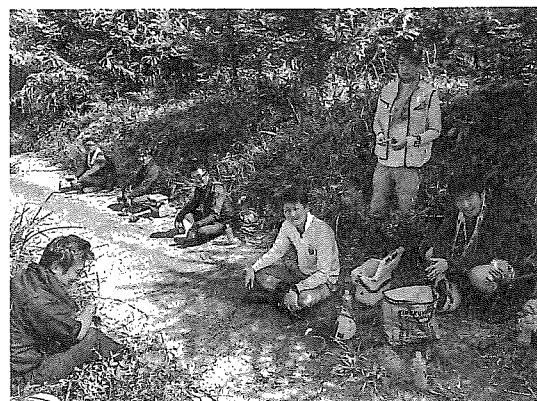
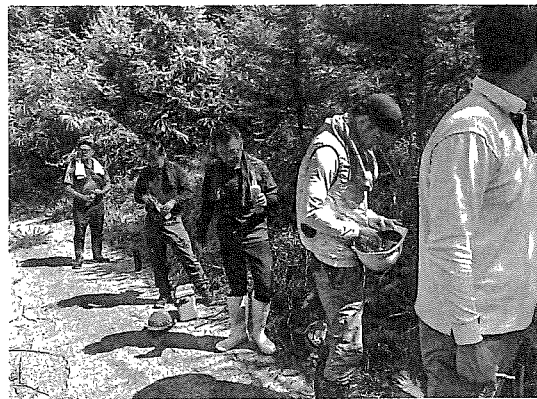
作業場所までは林道を300メートル登るこ



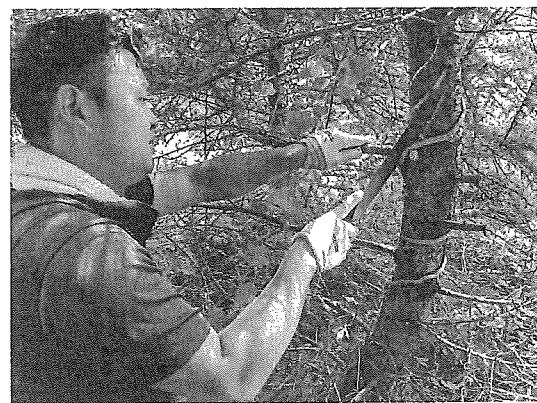
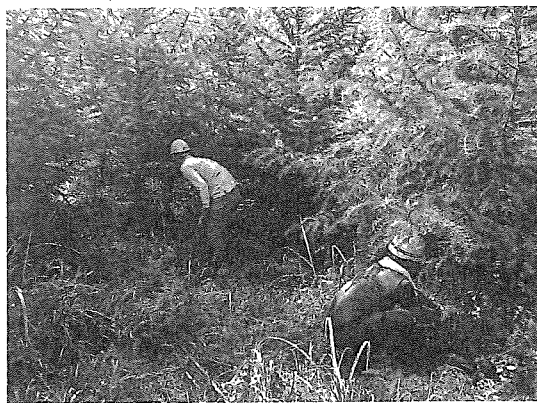
開会

協会コーナー

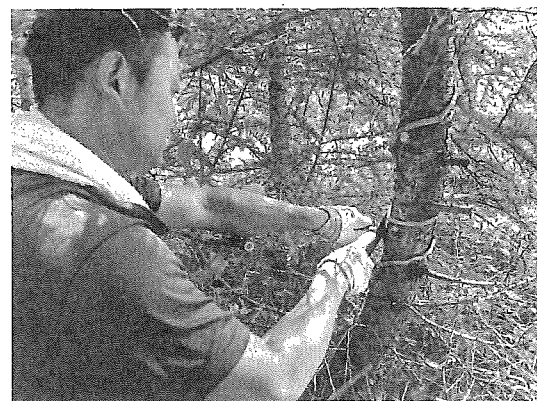
ととなり、普段の運動不足がたたり中には辿り着くのにやっとという会員もいました。作業場所につくと早速「もり」の中へ踏み出します。目の前にはすっかり見慣れた背丈3メートルほどの「カラマツ」の木、組合長の指示通り、地面から50cmの間に生えている枝を落としていきます。時折少し離れた所から聞こえてくる「蜂だ！」の声や蜂スプレーが噴射される音に少しビクつきながら作業をしていると、休憩時間を知らせる笛の音が聞こえてきました。「もり」のそこかしこから会員が林道まででてきて腰を下ろし、冷たいお茶で喉を潤しました。普段では味わえない格別の味を堪能し、次の作業に備え少しクールダウンをすること15分、再び笛の音で作業を開始しました。



休憩



作業



作業

1時間程すると最終の笛が鳴り作業は終了となりました。今回の枝落とし作業は例年に比べると低い位置での作業になったため、作業前後の風景に大きな変化をあまり感じることはできませんでしたが、森林整備に一役買ったのではないのでしょうか。

閉会式では私高藤から参加者、南条生産森林組合様へお礼を伝え、柳沢組合長からも当青年部会に改めてお礼の言葉を頂戴しました。

事業終了後にはこれもまた恒例のお蕎麦の昼食をいただきました。各社の状況や仕事の話に花が咲き大変有意義なお昼となり、来年もこの地に集まる約束をし今年の森林の里親促進事業は閉幕いたしました。

これからも、(一社)長野県資源循環保全協会がますます発展するよう、若い力を結集し、一致団結して取り組んでいきましょう！

研修委員会委員長 高藤 鐘一
(有限会社三井金属 東御市)



佐藤部会長 高藤研修委員長



柳沢組合長から



集合写真